

平成30年

トラスただより

6月

住宅街の紫陽花がキレイだな…と思っていたら東京も梅雨入りとの事。気分はじめじめしないように澆漑と頑張ります！

株式会社東京トラス 

【夏の定番！手ぬぐいのお話】

衣替えの時期。衣類だけでなく、お部屋の設えもさっぱりと夏風に変えたくになりますね。

夏の定番「手ぬぐい」。昔ながらのアイテムですが、現代風の色柄も豊富で、**季節の模様**のものを一枚飾るだけでお部屋の雰囲気大きく変える事ができます。「手ぬぐい」が庶民の生活に広がったのは江戸時代。国内で**綿花**の栽培が発展し、木綿の着物と共に普及しました。実用ではもちろんの事、**お洒落**や**気風**を演出するために、肩にかけたりマフラーの様に首に巻くなど、**個性を表す装身具**としても流行しました。**歌舞伎役者**や**落語家**が家紋や独自の紋様を染めたものを鬘肩筋に配ったり、宣伝・祝儀等の贈答品に使用されるなど本来の実用以外を目的とした広がりを見せることになりました。この時代には、手ぬぐいは「**手拭染屋**」という専門の染屋があり、装身具としての用途が広まり意匠が複雑になるにつれ、染色の技術は向上していきました。代表的な意匠に「**豆絞り**」という水玉模様がありますね。関東では浮世絵や歌舞伎の柄が好まれ、関西では**名所**や**ご当地**を表す風景などの柄が好まれたということです。タオルの普及により昔ほど使われなくなった手ぬぐいですが、現代でも根強い人気があります。木綿100%の「**さらし**」である手ぬぐいはタオルなどに比べ乾きやすいのが特徴です。洗濯物の乾きにくい梅雨でも、生乾きの**雑菌**を抑え常に清潔に使うことができます。色鮮やかな手ぬぐいをハンカチ代わりに、うっとりしい季節を**粋**に過ごしたいものですね。



不動産ニュース 「スマートホーム」に規格 経産省、国際主導目指す



経済産業省は、あらゆるモノがネットにつながる「IoT」や人工知能（AI）を使って生活を便利にする「スマートホーム」の国際規格づくりを始める。ミサワホームなどと協力し、遠隔で家電を動かせるAIスピーカーなどの安全基準をとりまとめ、2021年にも国際電気標準会議（IEC）の承認を目指す。声でテレビや暖房器具を動かせるAIスピーカー、外出先から操作できるアプリ、室温や湿度を感知して自動で開いたり閉まったりする窓など、スマートホームの周辺機器の開発や実用化が進んでいる。

東京都不動産協会ニュースより

* 港区グルメ * 暗闇坂 宮下 麻布本店



大人の隠れ家という言葉がぴったりの創作和食のお店。
麻布という土地らしく、店内は隅々まで洗練されている一方
お店の方は気さくで非常に居心地よく楽しめる空間です。
お料理とお酒は言わずもがな最高レベルです。創業者の宮下氏とは
20年来のお付き合い。ここ暗闇坂付近は昔「宮下町」と呼ばれていた
そうで、出店の際には何かの縁を感じたそうです。飲食店プロデューサー
として多方面で活躍される宮下氏のこだわりのお店です（^^）

港区元麻布3-12-1 アーベストコートB1F TEL：050-5869-0583